

学校推薦型選抜（文学部）

小論文課題

令和三年十二月十一日

次の文章を読んで、下記の課題に答えなさい。

する名前の体系は、人間とその物とのあいだに数限りなく繰り返されたであろう

名前を通じて本当に世界を理解することが可能であるのか。二十世紀的現代は、この根本的な懷疑から開始されるだろう。多くの人々が、名前について（否定的



「知ろうとする」のである。その場合、この想起への意志は、対象の「真の名」すなわち物事の生成現場への参入の可能性を、ほかならぬ物象化それ自体によつ